



山形発・地元ナース養成プログラム－地元医療福祉の担い手・住民の砦－

課題

地方の課題; 医療資源「少」・公共交通機関「少」

住民は地元の小規模病院・診療所、高齢者施設での医療福祉が頼り

看護学教育が応えられていない

大卒就職者「稀」

- ▶ 学士課程教育: 地元の小規模病院・診療所、高齢者施設の看護実践(含む訪問看護)に関する教育の体系化不十分
- ▶ 小規模病院等の看護職: 実習指導力向上の機会が少ない
- ▶ 大学教員: 小規模病院等における実践経験不足

効果

- 大卒看護職が地元医療福祉の担い手となる
- ▶ 地元医療福祉の看護実践の質の向上
- ▶ 住民の健康とQOLへの寄与

医療資源の少ない地域の小規模病院等の看護実践に関する看護学教育の標準化

- ▶ 同様の地域性の大学への波及効果

地元医療福祉の課題解決の好循環

成果

- ▶ 地元ナース養成の教育内容・方法を開発
- ▶ 地元で就業する価値を理解した学生の育成
- ▶ 学生・卒業生の小規模病院等就職の契機

- ▶ 小規模病院等看護職が実習指導を実施
- ▶ 新規実習施設の拡大

- ▶ 地元ナース養成に関する大学教員の教育力向上

事業推進委員会・専門チーム
外部評価委員会
住民参加型事業普及活動

取り組み

学士課程教育イメージ

<新設科目>

地元論
相互理解連携論
ジェネラリズム看護論

<既存科目再編>

- ▶ 講義・演習科目
地元医療福祉の内容強化
- ▶ 実習科目
総合看護学実習で地元医療福祉の内容を強化

看護実践研究センター

小規模病院等看護職

- ▶ 実習指導力養成教育
- ▶ フォローアップ教育
- ▶ 看護研究相談

地元医療福祉の担い手・住民の砦

地元の小規模病院等 <地元の強み・弱みの包括的把握> <多職種連携>
→「住民力を生かした看護実践」「全国的・国際的発信」

地方の住民の暮らしと地元の保健医療福祉を総合的に考察できる実習展開

地元ナース

協調性

変革力

地元住民の多様な健康問題に幅広く対応できる看護職

人事交流
大学教員と小規模病院等看護職

学士課程教育
小規模病院等の看護実践の体系的
教育プログラム

リカレント教育
小規模病院等
看護職
実習指導力養成

関係機関

大学

看護実践研究センター

小規模病院等